

Fw: 東北 Fan Meeting

地域にファンを増やすには？

地域に「ハマる」大学生から考える、
関係人口の増やし方



参加費
無料

定員
30名

主催
復興庁



イラストテーマ：地域振興、観光誘致

日時

2019
7/4(木)
18:30~20:30

場所

大正大学 3号館 2階
ラーニングコモンズ 1

東京都豊島区西巣鴨3-20-1

【最寄り駅】

- ◆都営地下鉄三田線 西巣鴨駅 徒歩2分
- ◆JR埼京線 板橋駅東口 徒歩10分
- ◆都電荒川線 庚申塚駅又は新庚申塚駅 徒歩7分

参加申込

下記URLよりお申し込みください。
<https://ux.nu/FQsOT>



◆Fw:東北 ホームページ
<https://www.fwtohoku.com>



◆フェイスブックページ
@fwtohoku



地域にファンを増やすには？

地域に「ハマる」大学生から考える、関係人口の増やし方

日時 2019.7.4(木) 18:30～20:30 (開場 18:00) 場所 大正大学 3号館 2階 ラーニングcommons 1

企画趣旨

東日本大震災後、全国各地の大学から学生たちが被災地を訪れ、様々な形で被災地の復興支援活動に携わってきました。

大正大学は、教育的視点から被災地支援を行うため、2012年から、様々な大学や地域に暮らす方々などと連携して、宮城県本吉郡南三陸町での学生向けスタディプログラムを企画し、これまで1500人を超える学生たちを送り出してきました。震災から8年を経て、東北を訪れる学生たちの姿勢や関心は変化してきており、震災復興への関わりという以上に、南三陸という地域そのものの豊かさに魅せられる学生が増えてきています。

復興の先にあるステージで、学生たちはどのように東北に向き合っているのか。

今回のFw:東北Fan Meetingでは、大学の側から多くの学生を送り出してきた山中昌幸氏と、現地コーディネーターとして南三陸で学生の受入を行う浅野拓也氏をお迎えし、プログラムの中で学生と地域がどう変化したかをお話いただきます。地域に「ハマる」学生たちとともに、これから先も、東北のコアなファンとなってくれる関係人口を増やし続けていくための地域の魅力発信の方法について考えます。

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALSSDGsの目標11
「持続可能な都市づくり」11 持続可能な都市づくり
安全で、住みやすく、持続可能な都市づくり17 パートナーシップで
目標を達成しよう

登壇者 ※順不同／敬称略

◆ 山中 昌幸 (大正大学地域構想研究所 専任講師・プロジェクトプロデューサー)

1972年生まれ。大正大学文学部史学科卒業。NPO法人日本起業家教育協会(現 NPO法人JAE)を設立、理事長を経てファウンダー。平成29年4月より、地域構想研究所プロジェクトファシリテーターに着任。起業家精神を持った若者を輩出することを理念に、2001年にNPO法人JAE(Japan Academy of Entrepreneurship)を立ち上げ、小学生から大学生対象に企業協働など実践型キャリア教育の実践。10年間で1万人以上の青少年にキャリア教育を提供。

◆ 浅野 拓也 (一般社団法人 南三陸研修センター 企画広報・研修グループリーダー)

1988年生まれ。埼玉県出身。大学卒業後、広告制作会社でエディター・ライター業を経験し、日本全国取材で駆け回り、自然とともに生きる人々に感銘と同時に憧れを抱く。2013年に、キリン絆プロジェクト「東北復興・農業トレーニングセンタープロジェクト」に参画。より現地に寄り添って活動していきたいという思いが強くなり、2014年に南三陸町に移住。以後、南三陸町で、個人向け/企業向けのツアーや、一次産業従事者と連携して行う体験型ツーリズムの企画運営、イベント企画、農業、ライターなど幅広く活動している。

プログラム(予定)

18:30	開会メッセージ／趣旨説明
18:35	ウェルカムスピーチ 大正大学 教務部長・地域創生学部学監代行 佐藤 徹明 氏
18:40	インプットクロストーク 「復興の先に向かって— 南三陸でのスタディプログラムの変遷(仮)」 山中 昌幸氏・浅野 拓也氏
19:05	ミニアイデアソン 「南三陸の魅力を体感するプログラムを考える(仮)」
20:00	発表タイム
20:10	登壇者コメント
20:15	Fw:東北活動紹介
20:20	閉会メッセージ／集合写真撮影
20:25	交流タイム(～20:30)

こんな方にオススメ！

- ・地域の魅力を体感できるプログラム開発に関心のある方
／プログラムに参加してみたい方(学生含む)
- ・関係人口を増やす取組に関心のある方
- ・地域復興における学生と社会人の連携について考えてみたい方
- ・東北との新しいかかわり方に関心のある方
- ・その他、本イベントに関心のある方 等

Fw:東北とは

「Fw:東北」は「進む」の意味を「フォワード」に置き換えた東北における共創によるプロジェクト全体の受託です。被災地復興及び地域課題の解決に取り組んでいるNPO、企業、自治体等が、自らの取組を加速・発展させるため、共創の手法を通じて、新たなパートナーとのつながりを創出し、地域社会の課題解決を目指していきます。

Fw:東北 Fan Meetingとは

「Fw:東北 Fan Meeting」では、復興庁、「新しい東北」官民連携推進協議会による、「Fw:東北」の取組、プロジェクトを紹介し、東北で様々なテーマを掲げて行われている活動や、それらに取り組む人々にフォーカスを当て、認知向上や共創の輪を広げる活動として、各種イベントを、東京や東北各地で多数展開(年間23本程度を予定)します。